松山広域都市計画都市高速鉄道

JR松山駅付近連続立体交差事業

予讃線













愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん　愛媛県 ダークみきゃん　愛媛県 こみきゃん

愛　媛　県

より快適に、より便利に

COMFORTABLE & CONVENIENCE



県都の陸の玄関のまちづくり

連立事業と土地区画整理事業を一体的に進め、西側駅前広場を整備することで駅西側のアクセスが改善されるとともに、市内電車が松山駅に乗り入れることで、交通結節点としての機能が格段に向上します。



安全・快適なプラットホーム

JR松山駅の新ホームが2面4線になり、対面乗り換えが可能になるとともに、エレベーター・エスカレーターなども整備し、バリアフリーで安全・快適な駅に生まれ変わりました。



高架下空間の有効活用

鉄道を高架化することにより新たに生み出される高架下空間は、商業開発、公共的な利用（駐輪場など）を図るなど、様々な有効活用が見込まれ、新しい賑わいの場が創出されます。

安全で環境にやさしく

SAFETY & ENVIRONMENT

(都)本町宝塔寺線(朝美踏切)

Before



踏切遮断による渋滞

After



踏切渋滞の解消

(市)新玉11号線(南江戸町踏切)

Before



歩行者と車両の混在

After



歩行者、車両の快適・安心な通行

(都)千舟町空港線

Before



急勾配のアンダーパス

After



安全走行

(都)中之川通線(松山第2踏切)

Before



事故の危険

After



踏切事故の解消

県都松山の新たなまちづくり

URBAN RENAISSANCE

JR松山駅周辺の現状と事業概要

四国最大の都市である松山市のJR松山駅周辺は、南北に走るJR予讃線と車両基地・貨物駅により市街地が東西に分断され、踏切遮断による交通渋滞も日常化しており、地域住民の生活に支障を来していました。また、鉄道による市街地分断により、駅周辺の一体的な発展が阻害され、新たな都市機能の集積を図る上で問題を抱えていました。

このような中、愛媛県ではJR松山駅付近連続立体交差事業に取組み、道路と鉄道を連続的に立体交差化することによって、交通環境の大幅な改善を図るとともに、今後は、松山市が行う土地区画整理事業や周辺街路事業と一体的に整備することで、県都の陸の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを目指しています。

●事業区間（4つの工区で事業展開）

❶高架区間
約2.4km（松山市美沢2丁目～空港通1丁目）

❷行き違い線区間
約1.7km（松山市土居田町～市坪西町）

❸北伊予駅改良区間
約0.5km（松前町神崎、出作）

❹車両基地・貨物駅区間
約1.3km、約6.3ha（伊予市上野、上三谷～松前町鶴吉）

事業による効果

❶渋滞・事故の解消

鉄道高架に伴う、8箇所の踏切除却により、交通渋滞、踏切事故の危険性が解消され、幹線街路の整備により、交通の円滑化が図られます。

❷地域分断解消・駅西地区の活性化

鉄道の高架化と西側駅前広場の新設による駅西側から松山駅への直接アクセス、駅前広場の一体利用、路面電車の延伸及び停留所の移設による松山駅での乗換えなどが便利になり、幹線街路整備とあわせて交通結節点としての利便性・快適性が格段に向上します。

❸安全・快適な施設利用

駅舎を新設し、バリアフリー化することにより、安全で快適な施設利用と、駅機能が強化されます。

❹県都の陸の玄関の刷新

車両基地・貨物駅の移転と併せて土地区画整理事業を実施することにより、駅周辺や隣接する地区の土地の高度利用と、県都にふさわしい魅力ある陸の玄関が形成されます。

JR松山駅付近の整備状況



駅北側（平成31年4月撮影）　駅北側（令和6年3月撮影）



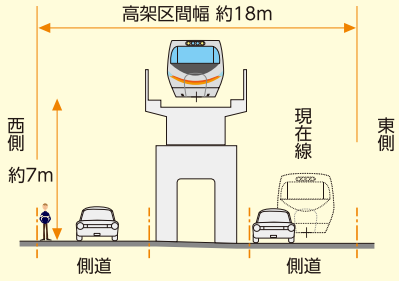
駅南側（平成31年4月撮影）　駅南側（令和6年3月撮影）



平成28年5月撮影

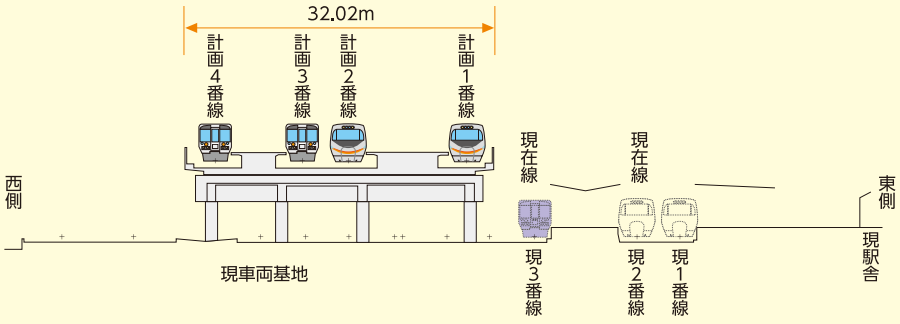
標準断面図

高架区間 一般部［西側別線］



現在線で営業しながら西側に高架を施工

高架区間 駅部［西側別線］



高架区間は、JR松山駅を含む約2.4kmの鉄道を高架し、８箇所の踏切を除却する区間です。都市計画道路６路線とその他道路６路線を立体交差とするほか、JR高架橋の両側に幅員6ｍの側道を整備します。

令和６年９月29日に高架切替えを行い、同日、新駅舎も開業しています。

JR松山駅付近の整備状況



駅舎（平成31年4月撮影）



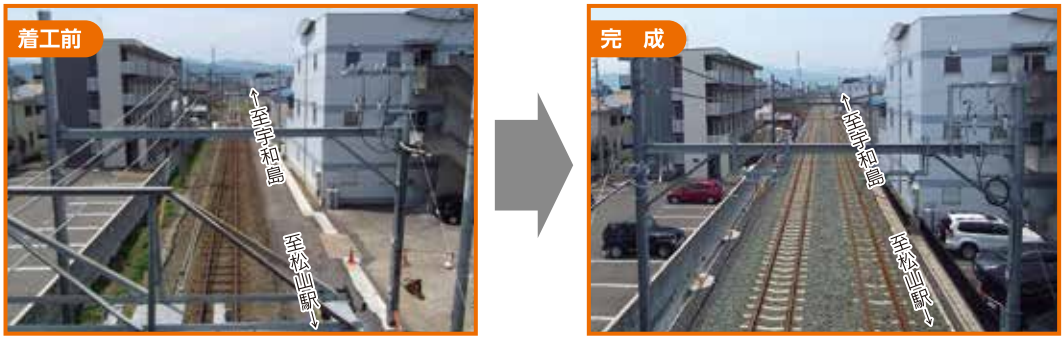
駅舎（令和6年9月撮影）



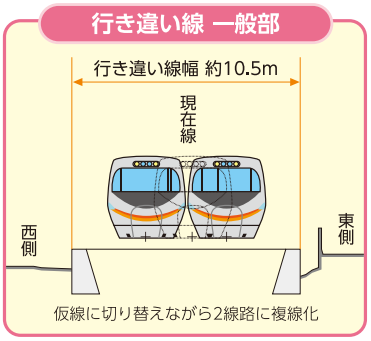
平成28年5月撮影

行き違い線区間は、基地移転に伴い松山駅～新車両基地間を回送列車が走行し列車本数が増加することから、営業線の運行に支障が生じないように、石手川を跨ぐ約1.7kmを複線化した区間です。H29年度に完成し、令和2年3月14日のダイヤ改正に合わせ供用しています。

複線化状況（国道56号より）



標準断面図



〈県道路事業との連携〉

県では、複線化工事に伴うJR橋りょうの架替え工事に合わせて、鉄道と交差する一般県道久米垣生線の歩道整備や交差点改良を目的とした道路改良事業を実施しました。



歩道整備、拡幅、路面切下げ



〈直轄河川事業との連携〉

国土交通省により、JR石手川橋りょうの架替え工事に合わせ、石手川狭窄部の解消を図る石手川改修事業が実施されました。



橋梁架替え、河道掘削、護岸整備

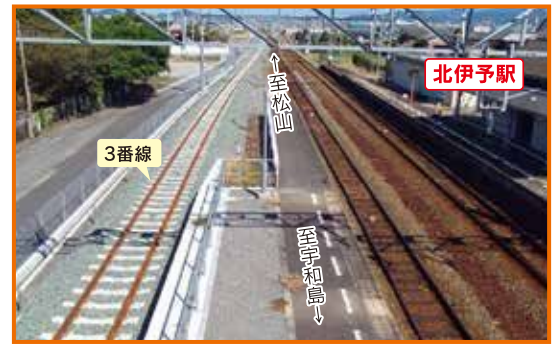


❸ 北伊予駅改良区間



平成27年7月撮影

3番線設置状況（北伊予駅連絡通路より）



北伊予駅改良区間は、列車ダイヤの乱れや事故などによる車両基地・貨物駅への進入阻害や、本線列車との行き違いや追い越しに備えるため、北伊予駅を含む約0.5km間において、待避用の３番線を増線した区間です。H27年度に完成し、令和２年３月14日のダイヤ改正に合わせ供用しています。

❹ 車両基地・貨物駅区間



令和2年4月撮影

車両基地・貨物駅区間は、高架工事に伴いJR松山駅に併設されている車両基地及び貨物駅を伊予市と松前町の境に移設する、延長約1.3㎞、面積約6.3haの区間です。R元年度に完成し、令和２年３月14日のダイヤ改正に合わせ供用（開業）しています。

新車両基地・貨物駅と周辺幹線道路との接続のため、アクセス道路を整備しており、R元年度に供用しています。

交差する市町道の付け替えとして、車両基地をアンダーパスする南北道路と、車両基地・貨物駅の南北に並行して外周道路を整備しており、南北道路はH28年度に、外周道路はH29年度に供用しています。

アクセス道路



南北道路



事業箇所 全体図



これまでの経緯

平成16年度	新規着工準備採択
平成20年2月	都市計画決定
平成21年2月	事業認可(事業着手)
平成22年3月	鉄道事業者との工事基本協定締結
平成27年度	北伊予駅改良区間　3番線設置完了
平成29年度	事業認可(計画変更) 高架区間　高架本体工事着手 行き違い線区間　複線化完了
令和元年度	行き違い線区間、北伊予駅改良区間、 車両基地・貨物駅区間　供用開始
令和6年度	高架区間　供用開始

お問い合わせ先

愛媛県土木部道路都市局都市整備課
〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2
TEL.089・941・2111(代)

愛媛県中予地方局建設部鉄道高架課
〒790-8502 愛媛県松山市北持田町132
TEL.089・941・1111(代)